

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2022-003
2.研究課題名	多様な世代の会話処理機能の認知基盤
3.研究期間	令和4年 7月（倫理審査委員会承認後）～ 令和 8年 3月31日
4.研究の概要	意義・目的 一般に、人間の認知機能は加齢に従って低下すると考えられているが、言語機能は、語彙および統語機能では維持されると観察されている（Shafro & Tyler, 2014; Peelle, 2019）。しかし、円滑な相互交流のため不可欠である会話能力が加齢によってどのように変化するのかについては、現在のところほとんど分かっていない。そこで、本申請課題は、高齢者の会話能力とその認知基盤を解明することを目指す。高齢者と比較対象の若年層の実験参加者に対して、実験と検査を行う。 高齢者の会話能力とそれを支える認知機能を解明できるならば、将来は彼らの円滑な相互交流の実現に役立つ情報を得ることが期待される。
	方法 対面実験において、重篤な疾患がなく日常生活に支障のない若年層（20歳以上）と高齢者（65歳以上）の日本語母語話者（30名ずつ、男女）を募集する予定である。実験と検査から得られた情報は、連結可能な形で匿名化される。 謝金については、高齢者（学外）の参加者には時給¥1000（交通費込み）、若年層（学内）の参加者には時給¥900（本学学生への実験協力謝金規定による金額）、所要時間に応じて支払う。
	問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）